# 6 その他

## 【6-1】緑化センター月別利用者数(平成25年度末)

(単<u>位:人)</u>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1,710	267	296	243	270	1,542	344	175	54	9	0	52	4,962

※開所(昭和58.4.1)からの累計 179,415人 資料:特定非営利活動法人 緑の相談室

担当:森林整備課

年度	本 庁	林業技術 センター	計	指導区	計	合 計
平成 21	0	3	3	36	36	39
22	0	3	3	36	36	39
23	0	3	3	36	36	39
24	0	3	3	36	36	39
25	0	3	3	36	36	39
26	0	3	3	36	36	39

担当:林業技術センター

## (付表)林業普及指導員の指導区別配置状況

(単位:人)

/13:	(門及) 你来自及旧等員の旧等区別癿直依然 (平位: 八/										
指導	年度	平成 21	22	23	24	25	26				
盛	冠	3	3	3	3	3	4				
花	着	3	} 4	} 4	} 4	} 4	} 4				
北	Ŧ	3			J		J 1				
水	汧	3	4	4	4	4	4				
—	関	3	} 5	} 5	} 5	} 5	} 4				
千	鴈	3		J	J						
大	船源	3	3	3	3	3	3				
遠	野	<mark>;</mark> 3	3	3	3	3	3				
釜	Æ	i 1	2	2	2	2	2				
宮	쿧	3	4	4	4	4	4				
岩	身	2	2	2	2	2	2				
久	窓	3	3	3	3	3	3				
=	F	3	3	3	3	3	3				
	計	36	36	36	36	36	36				

## 【6-3】普及指導職員研修実施状況(平成25年度)

## (ア) 国等の行う中央研修

() / E () () () () () () () () () () () () ()			
研 修 名	受講者数	研修日数	場所
1 一般研修	4	4~5日	森林技術総合研修所
2 林業機械研修	_	_	森林技術総合研修所 林業機械化センター
3 普及指導職員シンポジウム			
(1)全国	3人	2日	東京都
(2)東北・北海道ブロック	3人	2日	山形県

## (イ) 県が実施した研修

研 修 名	受講者数	研修日数	場所
1 自己啓発研修			
(1)集約化施業ほか	10人	1~4日	福島県ほか
2 その他の研修			
(1)資質向上研修(現地出前講座)	28人	2日	一戸町、遠野市
(2)指導林家等研修	10人	1日	奥州市
3 全体研修	39人	2日	盛岡市

## 【6-4】緑の少年団の推移

(単位:団数:団、団員数:人)

区分	_	年度	平成 21	22	23	24	25
団		数	132	126	118	116	115
団	員	数	4,913	4,303	4,952	4,657	4,486

担当:森林整備課

## 【6-5】林業研究グループ等の推移

(単位:グループ数:グループ、会員数:人)

		:	年 度	平成 21	22	23	24	25
	区分			1 724 = 1				
++		グルー	ープ数	40	39	40	25	23
	林業研究グループ	<u> </u>	男	862	650	661	389	359
	1作来明元ノル ノ	会 員 数	女	165	134	137	103	103
		奴	計	1,027	784	798	492	462

注:平成24年度以降は岩手県林業研究グループ連絡協議会会員のみ記載

#### 【6-6】研究課題(平成26年度実施)

#### 事業名、研究課題名(予算区分)

- 1 優良品種開発促進事業(県単)
  - (1) マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発
  - (2) スギ花粉等多様な形質の家系評価と検定技術の開発
- 2 県産材高付加価値化生産技術開発事業(県単)
  - (1) 県産製材品の住宅用床・壁組への利用技術の開発
- 3 防潮林再生緊急調査事業(県単)
  - (1) 防潮林再生緊急調査事業
- 4 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 (国庫受託)
  - (1) カラマツ下刈り回数の削減技術の開発
- 5 試験研究(県単)
  - (1) コンテナ苗等を活用した育林初期経費の低減技術の開発
  - (2) 針葉樹大断面製材の乾燥技術の開発
  - (3) アカマツの用途拡大のための活用技術の開発
  - (4) 原木シイタケ安全安心栽培技術の開発
  - (5) 林内放射性物質モニタリング調査事業
  - (6) 広葉樹被害の実態把握と防除技術の開発
  - (7) カラマツ優良種苗の安定生産に向けた技術体系化